



栗原選手にサキホコレを贈呈する椎川県本部長（右）

サキホコレでハピ激励

JA全農あきたは4日、バスケットボール男子Bリーグ1部（B1）の秋田ノーザンハピネッツに県のブランド米「サキホコレ」150kgを贈った。

JA全農あきた、ハピネッツ、JA秋田おぼこ、大曲農業高校が共同でサキホコレを栽培、収穫する「HAPPY TOGETHER ONE」プロジェクトの一環。2021年度から取り組んでおり、今年で5年目。5月には美郷町の田んぼでハピネッツの選手が田植えを体験した。

秋田市の県JAビルで贈呈式が行われ、JA全農あきたの椎川浩県本部長は「今年のサキホコレは厳しい気象状況を乗り越え、生産者の努力でおいしく仕上

がった。このお米を食べて、反転攻勢となるよう頑張ってほしい」と激励した。

ユニホーム姿の栗原翼選手はサキホコレを受け取り、「田植えをやってみて、本当に大変な作業だった。普段食べているお米が当たり前ではないと感じた。チームは厳しい状況だが、いただいたお米を食べ、力をつけて巻き返したい」と語った。

ハピネッツの公式X（旧ツイッター）では、プロジェクトを行ったJA秋田おぼこ管内で収穫したサキホコレを県内外の消費者へ「おすそわけ」するキャンペーンを実施する。詳細はハピネッツ、JA全農あきたのホームページなどで確認できる。（川村優衣）